

ほんべつ 議会だより

No.90

令和元年8月1日発行



見て! ぼくらがつくった 凧 凧 あがれ

6月22日 あかげら少年団「凧あげに挑戦！」

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 



第2回 定例会

新たな森林整備の財源として
森林環境譲与税基金条例を制定

令和元年第2回定例会は6月10日に開会し、森林環境に関する基金条例の制定や補正予算などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

条例制定
森林環境譲与税基金条例の制定

国から森林環境譲与税が譲与され、森林整備に関する施策や人材育成及び確保などに要する経費の財源とします。令和6年からは住民税より1千円課税されます。

問 譲与税の具体的な使途は。

答 森林整備に必要な森林台帳の精度向上や意向調査の実施などを進めるとともに、担い手確保に向けて町独自事業の創設など、関係機関と具体的に協議をしながら進めていきます。

一般会計補正

特別交付税

問 特別交付税の状況は。

答 平成30年度確定額は3億1,392万8千円で、前年度より1,164万1千円の減となっています。

不納欠損調査旅費

問 調査に要する旅費77万7千円の内訳は。

答 485件のうち十勝管外への調査44件に係る旅費です。道外については電話調査を基本とし、今回予算計上はしていません。

北海道U・Jターン新規就業支援事業

問 単身で道内に移住すると60万円、世帯だと100万円という内容だが、本町の見込みは。

答 道内では年間200人の新規就業者を見込んでおり、本町も企画した中で、まずは1世帯分を予算計上しました。



ぜひ本別にU・Jターンで

病院事業会計補正

看護師派遣

問 看護師派遣の補正内容は。

答 急遽4名の看護師の欠員が生じたことから、派遣の看護師で対応を図ります。住宅や家電の用意が必要条件となっており、必要最低限の製品等を購入します。

6月24日に任期満了となる
固定資産評価審査委員
会委員に

山下 芳久氏

(勇足東4)

の再任に「同意」しました。

8月3日に任期満了とな
る監査委員に

畑山 一洋氏

(北6丁目)

の再任に「同意」しました。

請 願

「スクールバス利用距離要件見直しについての請願」

平成31年3月定例会において総務常任委員会（篠原委員長）に付託された標記請願は、委員会を延べ5回開催し、協議・検証を行ってきました。

通学路の危険認定について教育委員会での配慮が十分にされていない部分もあり、改善を強く要望する。については、登下校時スクールバスの利用距離要件を小学生2km、中学生3kmに変更し、それに伴って適当なバス運行を計画、実施するよう請願する。

（請願者 藤枝 淳氏）

委員会のまとめ

本町のスクールバス運行及び乗車可能な児童生徒は、学校統廃合が前提であり、その都度順次導入されている。距離要件を見直した場合、バス購入費、維持費等で多額の予算が必要となり、

運行状況を考えて難しい。子どもの安全面は、こども110番、青色パトロール、交通指導員等による見守りが行われている。

委員会での採決結果

不採択

（採択1人、不採択4人）

本会議

「請願」に賛成者の討論…

梅村議員

子育てに優しく、積極的に取り組む町は、移住先の選択肢となり、人口減の課題に効果が見込める。距離要件見直しの声は複数確認されており、児童通学の安全確保、保護者の負担軽減となる。

「請願」に反対者の討論…

大住議員

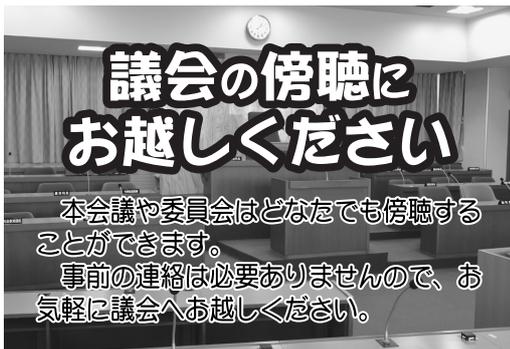
本町のスクールバスの運行は、学校の統廃合に伴い、へき地における通学支援の手段として運行されており、請願者の通学は統合されていないので、対象とはならないと判断する。

本会議での採決の結果

採択1人、不採択10人で委員長報告のとおりに不採択となりました。



勇足方面を走るスクールバス

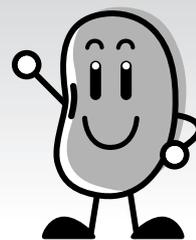


本会議や委員会はどこからでも傍聴することができます。事前の連絡は必要ありませんので、お気軽に議会へお越しください。

令和元年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(7,719万円) 70億843万4千円	消費税率引き上げに伴うプレミアム付商品券事業実施等による増 (臨時会) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金等の増 (定例会)
特別会計	(△739万円) 11億5,701万5千円	人事異動による人件費の調整に伴う減 (定例会)
	(40万円) 1億3,321万8千円	保険料歳出還付金見込額の増 (定例会)
	(△51万4千円) 9億8,133万円	人事異動による人件費の調整に伴う減 (定例会)
	(334万3千円) 2億9,660万円	備品更新による増 (臨時会) 人事異動による人件費の調整に伴う増 (定例会)
	(509万1千円) 1億2,645万2千円	人事異動による人件費の調整に伴う増 (定例会)
	(△150万5千円) 5億648万2千円	人事異動による人件費の調整に伴う減 (定例会)
水道事業会計	(△66万3千円) 2億7,519万5千円	人事異動による人件費の調整に伴う減 (定例会)
病院事業会計	(345万2千円) 13億6,211万8千円	研修医等の住宅借上料、看護師派遣の委託料の増 (定例会)

追跡



どうなったべ？

その質問

今回で2回目となる一般質問追跡コーナー。議員が行った一般質問が、その後の町政にどのように反映されたかお知らせします。

スクールバス利用の見直しを

質問

スクールバスの利用できる通学キロ程を、小学生4キロメートル以上、中学生6キロメートル以上は、昭和59年に制定され30年以上も経っています。学校や保護者と協議をして短縮する考えは。

答弁

時代や生活環境の変化に鑑みて見直しを検討し、今年度中に結論を出していきます。

【平成29年6月定例会：高橋利勝議員】
※議会だより82号に掲載

その後 中学生のキロ程を短縮しました

平成30年4月より、中学生が乗車できる通学キロ程が、6キロメートルから4キロメートルに短縮されました。



快適な暮らしをリフォームで

リフォーム助成終了、新たな取り組みは

質問

本年（平成29年）4月17日で応募締め切り、制度終了となりましたが、新たな「住宅リフォーム支援制度」を行う考えがあるか伺います。

答弁

何とか制度を継続できるような仕組みを検証しながら存続に向けて検討していきます。

【平成29年6月定例会：阿保静夫議員】
※議会だより82号に掲載

その後 リフォーム新助成制度、さらに3年間実施

助成内容は、

①10万円助成：

所有者が居住する住宅のリフォームに助成します。対象工事費（税抜き）合計が30万円以上のもの。

②30万円助成：

空き家バンクに登録された空き家住宅を、賃借または購入する方で対象工事費（税抜き）合計が100万円以上のもの。

早くやってよ町道補修

質問

町道調査をしたところ傷みが目立ち、対応も遅い。農村地域では応急処置が繰り返され、問い合わせをすると「予算、材料がない」との返答。連絡体制の整備、近隣住民への周知をし、町政への不満解消の機会とすべき。

答弁

予算や材料確保のあり方をしっかり検討し町道補修について対応していかなければならないと思っています。

【平成30年9月定例会：梅村智秀議員】

※議会だより87号に掲載

その後

道路整備の連絡対応をしています

議員から指摘のあった箇所は整備し、地域の方には訪問や連絡文書の投函（ポスティング）を行いしっかり対応しています。

*31年度予算では町道工事補修予算200万円増（30年度1,800万円⇒31年度2,000万円）、材料費は42万7千円の増となりました。（30年度1,079万9千円⇒31年度1,122万6千円）



町道補修のビフォーアフター

起業家等支援事業の継続的な支援を

質問

起業家等支援に事業承継も必要と考えるが、町の考え方を伺います。

答弁

事業承継の支援について審査委員から意見が出されていますので、今後、しっかりと議論していく必要があります。

【平成30年9月定例会：柏崎秀行議員】

※議会だより87号に掲載

その後

事業承継支援を実施しています

平成31年4月より実施。

事業承継については、申請は、後継予定者と現経営者の連名とし対応します。ただし、「血縁関係にあるものは認めない」としています。

一般質問

7人の議員から11問



暮らして

防犯対策の推進について

答 防犯カメラは今後も情報収集・調査研究を行います



石山憲司議員

石山議員 ①子ども110番の家や登下校時の見守りも行われているが、今後の通学路の見守り強化について伺います。

②防犯カメラの設置については、昨年9月の定例会に答弁された協議・検討の経過を伺います。

高橋町長 ①日常生活での「ながら見守り」を進め、す

きやき隊の人材を広く募集し、子ども110



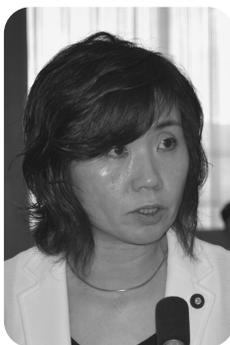
地域で見守る子ども達

番の家を増やし、公用車にステッカーを貼るなど、まち全体で防犯に取り組んでいるという姿勢を広くPRしていきます。

②防犯カメラの設置については、役場内の関係部局や警察署及び設置業者と協議をし、設置をしている近隣自治体への聞き取り調査も行いました。必要性については、関係団体と協議はしていませんが、防犯カメラに頼らない安全安心のまちづくりが基本であります。カメラは防犯システム上、有効な手段の一つであり、具体的に必要などころがあれば、情報収集・調査研究を行っていきます。

トイレの洋式化と多目的トイレ設置の整備を

答 利用者の声を聞き、順次整備していきます



藤田直美議員

藤田議員 公共施設や屋外に設置されているトイレは和式が多く、町内外から幅広い世代が使います。今後計画的に洋式化を進めていくべきです。

①町民プールの男子トイレに洋式便器がなく、女子トイレに1基あるだけ。

②本別霊園のトイレも和式で老朽化しており、参拝者も多く、多目的トイレが必要では。③南、弥生球場、東側河川敷などにある簡易トイレも洋式化に。④夏に賑わう本別公園第2キャンプ場が、洋式トイレから離れているため不便では。町全体

をユニバーサルデザインにしていくべきです。

高橋町長 ①児童利用の際に、洋式トイレが混むことも見受けられるので検討します。

②建て替えは厳しい状況ですが、需要を考え、便器を洋式に変える方向で検討します。

③河川敷に置かれている簡易トイレは特に川の氾濫に備えて移動式となっています。

更新時には必ず洋式にします。

④洋式化を要望する実情は理解するところですが、

利用する人の声を聞きながら順次整備をしていきます。



望まれるトイレの洋式化（本別霊園）

世界自閉症啓発デーとは…

毎年4月2日を世界自閉症啓発デーとして、全世界の人々に自閉症を理解してもらおう取り組みが行われており、日本でもシンポジウムの開催、ランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。



みんなでお祝いを メモリアルライトアップ

業展開について、各地本別会の方々など、広く町内外から意見を募り、一体感を持つため、まちづくり協働事業とすべきです。児童から、流れる音楽のりクエストをも

らい思い出に。・ライトアップ申込者の記念やお祝いをホームページなどで紹介し町民みんなでお祝いを。ネットカメラを設置し、町外申込者にも見てもらう。・ライト色を選択可能にし、**世界自閉症啓発デー**はブルー、乳がん早期検査啓発はピンクで点灯、これらに積極的に取り組み世界へ発信。・独自の婚姻届、出生届を作り、橋で手渡すなどをメニューに加えたふるさと納税を財源に。愛の力があれば本別町はまだまだやれることがたくさんあります。

高橋町長

橋を舞台に活用する例はあまりなく、先進的な取り組みになり得ると考えます。また、内外からの色々なアイデアの募集等含めて提案をいただいたことについて、しっかりと取り組んでいきます。

愛は本別を救う！ 愛のかけ橋事業復活を

答 広く町内外から意見を募り、再構築をします



梅村智秀議員

梅村議員 愛のかけ橋は開通から30年以上が経過し、欄干の塗装ははがれ、記念プレートも色あせ、メモリアルライトアップ申込件数も少ない。これらの再整備、新たな事業展開について、各地本別会の方々など、広く町内外から意見を募り、一体感を持つため、まちづくり協働事業とすべきです。児童から、流れる音楽のりクエストをも

自主防災組織の必要性について

答 組織化を推進していきたい



柏崎秀行議員

柏崎議員 本町においても防災計画やマニュアルが作成されていますが、災害は自助・共助・公助という基本体制の中で、自ら安全を守るのだという意識を培っていくために、自主防災体制について現状と構築すべき課題を伺います。

① 各自自治会において、自主防災組織が結成されていると思いますが、町として働き掛けや支援をし、防災に対する意識を高めていく考えはあるのか。

② 町が率先して災害訓練を進め強化し、リーダーとなり得る防災士や防災マスターなどの人材育成を進めるべきだが町の考えは。

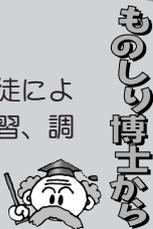


安心は日頃の防災訓練で

高橋町長 ① 組織的な地域住民による自主的な防災活動が極めて重要ですので、組織化を推進していきます。
② 積極的に働きかけを取り進め、防災意識の高揚に努めていき、防災士や防災マスターなどの人材育成も町として考えながら、支援・情報提供などをさせていただきたい。

アクティブ・ラーニングとは…

教師による一方的な指導ではなく、児童・生徒によるグループワークやディスカッション、体験学習、調査学習を取り入れて、新しいことを創造する力を育てる授業。



近年多発している自然災害の対策について

答 公共施設の耐震改修は全て終了しています



大住啓一議員

大住議員 近年の異常気象による災害が多発する中で、行政は災害状況の把握、住民の方々への周知、避難所の確保と避難の勧告や指示など多岐に亘っています。

①平時より災害に耐え得る施設の整備や維持管理が必要と思います。本別町の公共施設の耐震はどの様になっていますか。

また、町道や町で管理する河川などの維持管理と農林業に関わる農業用排水や林道の維持管理はどのように行っていますか。



避難所の1つ中央公民館

②災害対策本部設置の判断は、町内の巡回調査を踏まえて判断しています。自治会との協力は大事な命を守るため、しっかりと対応します。

高橋町長 ①本別町の公共施設は耐震改修を全て終了しています。町道や河川管理は定期的にパトロールを行い、道路側溝の草刈や河川の土砂埋塞のない様に管理しています。排水、林道についても降雨時などに点検しています。

②災害発生時における、災害対策本部設置の考え方と、自治会と協議・協力するため、の個人情報の提供の考えは、すか。



教育

本別高校や子ども達の未来に向けて

答 町民の集いを開催し積極的にPR活動を行います



水谷令子議員

水谷議員 本別高校は、アクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法を積極的に取り入れ、社会で自立できる生徒を育成する教育を展開していると認識しています。

①地元の進学率の向上と道教委への要請が必要。②町全体の協力と取り組みの後押しが必要。③アクティブ・ラーニングや本別町理科教育プロジェクトの周知。④英語教育の更なる充実と公設塾を学校内に置き、



「元気学宿」で理科実験

英検合格者は、準2級14名、2級5名と飛躍的に向上しています。英語教諭を時間派遣で支援し、今後本高と十分協議をして存続の為に努力していきます。

TT（複数の教師が協力して授業を指導）の配置が必要と考えます。

佐々木教育長 町内中学生に進路希望アンケート調査を実施しており、5月に引き続き再度道教委を訪れます。町民が本別高校を理解した上で支援をいただくことが重要です。今年度も「町民の集い」を開催し、町広報や新聞折込などでも積極的にPR活動を行います。

本別高校支援のあり方の再検討を

答 中学生アンケートをもとに検証、改善を進めています



阿保静夫議員

阿保議員 高校配置計画案では、来年度入試の募集学級数の計画を9月に公表するとのこと。本別高校の2間口を守る取り組みはいよいよ重要。

①中学生アンケートでは高校選択の第一はクラブ活動。現支援策の状況は。また、著名なスポーツ選手の一定期間の招へいなどの考えは。

②夏期、冬期休日の学習塾開設支援、姉妹都市オーストラリア・ミッチェルへの修学旅行なども検討しては。

佐々木教育長 今年は36人の入学者で、4年続きの1間口となり、道教委へは引き続き2間口の要請をしています。

①クラブは現在10部です。



本別高校支援、より充実を

要望の高かった卓球部が昨年よりスタートしました。著名スポーツ選手の招へいは慎重に取り進めるべきと考えます。

②高校の先生方の努力で、大学進学講座や夏期、冬期講習会が実施されています。海外への修学旅行については意向調査を実施しているところ。



行政

行政町民懇談会の開催で住民自治の推進を
答 職員の対応もしながら地域に入っていきたい

阿保議員 町民のみなさんの要望、意見を直接聞く場、住民参加のまちづくり・住民自治推進のためにも町民懇談会を開催する考えは。

①年間計画に行政町民懇談会を位置づけるべきでは。

②『町長がおじやまします』も大いに取り組むべきと考えますが見解を伺います。

高橋町長 ①町政懇談会は、年々、参加者の減少、固定化が見られ「おじやまします」を平成10年1月にスタートし、88全自治会を回りました。

②「おじやまします」は近年、団体や自治会で年1〜2回の開催ですが、その他青年や婦人団体、自治会の集会などに合わせ開催しています。

阿保議員 年間計画の中に、担当課長や職員を伴った懇談会を設けるべきで、原点到ち返るべきです。

高橋町長 勤務時間内は若手職員、時間外は管理職という対応もしながら地域に入っていきたいと思えます。



議会では毎年開催する懇談会、町でも

ドメインとは…

インターネット上の住所のようなもので、ホームページを公開する際に欠かせないもの。



ものつり博士



信頼が大切 ふるさと納税

税金の諸問題（横領・ふるさと納税と納税手続ミス）の対処は

答 485件を調査し、手続ミスは深くお詫びします

大住議員 不納欠損処理調査及びふるさと納税ワンストップ特例の手続きミスに関して行政報告がありました。首長としての責任と今後の対処について伺います。

① 3件、56万1千円の未収納事案が刑事事件とならなかった理由と、不納欠損処理調査

を行っていただきますが、現状と町民の皆さんへの説明、今後の対処について伺います。

② ふるさと納税ワンストップ特例の手続きミスは、本別町に思いを寄せていただいた方々に対する裏切りです。職員の見分は勿論、最高責任者たる町長の処分と今後の対処について伺います。

高橋町長 ① 刑事事件にならない理由は、刑事訴訟法により原則非公開のため知ることができません。不納欠損処理調査は485件であり、11月頃までに調査を終えたい。

② 寄付していただいた方々には、深くお詫びを申し上げます。手続ミスに関しては、倫理委員会に諮り、最高責任者として職責を果たします。

消えた本別町ホームページ、運営体制を再検討

答 再発防止に努め、リニューアルに取り組んでいきます

梅村議員 6月1日から本別町公式ホームページが全く閲覧できない状況でした。観光行事、防災やふるさと納税の手続き等、町のありとあらゆる情報が詰まっております。正常であればあったであろう利益など、本件による機会損失ははかり知れません。再発防止の万全な体制を構築すべきです。

また、ホームページ内にある町立病院ページについても積極的に更新し、病院改革の一助とすべきです。

高橋町長 経費削減を図り、緊急時の予備回線の解約をしたところ、ドメイン使用権がこの回線使用料に含まれており通信障害を発生させた人為的ミスです。病院ページの更新頻度が少ないことは承知していますので、リニューアルに取り組んでいきます。



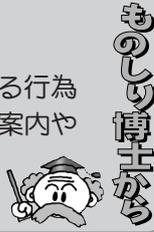
こまめな更新が望まれる町ホームページ

梅村議員 職員が経費削減のため新しい取り組みをしようとする自主性の芽は摘まぬように、その姿勢は評価すべきです。また、行事情報の更新もこまめに行うべきです。

高橋町長 可能な限り事前に発信できる、充実したページ作りを努力します。

ポスティングとは…

チラシなどを各自宅の郵便受けへ直接投函する行為で、商業目的以外では、地方自治体などが行事案内や工事、交通規制などのお知らせを行う場合もある。



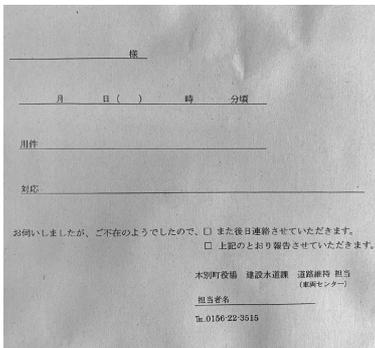
高橋町長 役場に連絡のあった要望や相談について、その時すぐか、次の朝には打ち合わせをして、その内容を極力早く住民に連絡を入れるよう

梅村議員 道路の維持管理などで相談や要望を行うも、その後の連絡が無く、どういった対応になるのか分からない、または対応が遅いという事例が多い。まず相談者には、対応が可能か否かを速やかに知らせるべきで、対応可能なのであれば、影響を受ける近隣住民などにも、何を、いつ頃、どのように行うのか、その際に注意事項はあるのかを周知し、迅速かつ丁寧な対応を心がける必要がある。この行政として最低限ともいえることがなされて初めて、町民が本別の未来に期待を寄せることにつながるのです。

役場に相談、音沙汰なし。その後の対応は？

答 要請に連絡をしないということは一切ありません

努めております。以前にも質問があった**ポスティング**での通知表を含めて、願いが来たことは必ず、どうするか、今日やるか、日を改めるか、それをちゃんと連絡するように努めていますので、連絡がないとかという話は全然承知しておりません。



現行のポスティング通知表

写真で見る議員活動



宮城県大衡村議会視察来町（ケアセンター）



町民植樹祭（本別公園）



全道新任議員研修会（札幌市）



全道議員研修会（札幌市）

意見書

第2回定例会では5件の意見書が提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中、地方版総合戦略の実行や大規模災害を想定した防災・減災対策の実施など新たな課題に直面しています。地方の財政需要に対応するため、さらなる充実・強化を求めます。

提出者 方川 一郎



別居・離婚後の親子の断絶を防止するための法整備を求める意見書

現在の法制度のもとにおいては、単独親権制度を採用しており、一方の同意を得ずに子を連れて別居し、親子の交流が一方的に断たれる事例が多発している。親子として継続的な関係が持てるよう共同親権を含め必要な法整備を強く要望する。

提出者 柏崎 秀行



「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消「30人以下学級」の実現に向けた意見書

子どもたちへのきめ細やかな教育のためにも、教職員定数を抜本的に改善するなど、教職員の超勤・多忙化解消と、住む地域や環境に関係なく平等に教育を受けるため、国による教育予算の確保・拡充等を求めます。また、朝鮮学校の授業料無償化適用除外撤回の実現を要請します。

提出者 黒山 久男

討論

「意見書」に反対者：梅村議員 政治的や外交的な要素が強く、地方議会からの意見書としては好ましくない。現時点において、この朝鮮学校の授業料無償化というものを国が行なうことについては適正ではない。

「意見書」に賛成者：藤田議員 日本で教育を受ける場合は、子どもは皆平等であるべきで、学校においては政治的・宗教的思想を持ちこまないということになっていると思います。平等な権利としてあるべきだ。

・採決の結果 賛成10人 反対1人



消費税の10%の中止を求める意見書

実質賃金が、前年同月比2.5%減と大幅減になりました。こうした経済情勢の中で、消費税率10%への引き上げは、暮らしをいっそう悪化させることが明らかです。直ちに消費税10%の実施を中止することを強く求めます。

提出者
阿保 静夫



子どもに係る国民健康保険均等割保険料の負担軽減を求める意見書

国民健康保険は保険料(税)の上昇が続き、支払い能力の限界を超えています。国は全国知事会はじめ地方自治体の切実な要望を受け止めて、子育て支援の観点から国民健康保険料(税)の子どもの均等割の軽減措置を強く求めます。

提出者
阿保 静夫



議会用語の解説

《百条調査権・百条委員会》

地方自治法第百条に定められた議会が有する調査権等についての規定。議会の持つ重要な役割を十分果たすために、町村の事務について調査できる権限です。

単に町村長やその他の執行機関に対して質問や資料の提出を求めたりするだけでなく、選挙人(町民)やその他の関係者の出頭や証言、記録の提出を求めることができます。

さらに虚偽の陳述や証言拒否、記録の不提出等に対しては禁固や罰金が科せられるという極めて強力な権限。「伝家の宝刀」。

強力な権限であることから運用は慎重にすべきとされています。



健康づくりポイント

健康増進 常任委員会

道の駅の現状について
調査日／令和元年5月15日

(1)道の駅について

「道の駅」は、商業、休憩、地域振興施設等が一体となった道路施設で、平成5年に正式に制度運営がされました。

(2)本別町における道の駅の現状について

平成18年4月にふるさと銀河線が廃止となったことから、廃止後の旧本別駅を含む中心市街地エリアの機能回復と活性化、新しいまちづくりの観点から「まちづくり検討委員会」の検討を経て施設整備が導き出されました。

施設は、平成21年3月北海道で107番目として登録され、利用者数は、年間約34万1千人となっています。



34万人が訪れる道の駅

(3)「道の駅」の展望について

課題として、駐車場への円滑な進入を確保するため取り組みが必要です。更に建物本体も築30年弱が経過し老朽化が見受けられます。現在は、特産品販売による魅力創出事業を実施しています。

(4)まとめ

道の駅ブランド力向上などの案も出されており、今後も道の駅を核とした観光振興を図る取り組みも必要と考えます。

病院運営の現状と今後の見通しについて

調査日／令和元年5月15日

(1)本別町国民健康保険病院の概要

平成12年に太陽の丘にオープンし、内科、外科、耳鼻咽喉科を中心に5人の常勤医師のもと運営されています。入院病床数は60床で、緊急告示病院として救急患者を受け入れる体制を整えています。

(2)入院・外来患者数と事業収益の状況

入院1日平均患者数は、平成30年度42.3人、外来1日平均患者数は1771.3人です。病院収益は、減少を続け、約4億円以上が一般会計より繰り入れられ、厳しい運営状況です。

(3)診療体制

「地域連携室」を充実させ、町内介護施設との連携を図ります。

(4)今後の見通し

少子高齢化、人口減少に伴い厳しい運営が予想されることから、収支改善や経費削減などに取り組んでいます。

(5)まとめ

町民の皆さんが安心して受診できる病院として、患者さんの意向、動向を把握し、病院経営にあたるべきです。繰入額が4億円を超えている事は、憂慮に堪えません。職員一丸となった経営改善を求めます。

行政報告

ふるさと納税ワンストップ特例の手続きミスについて

平成30年中に本町にふるさと納税をし、ワンストップ特例制度を利用した寄付者190自治体317人について、税額控除に必要なデータが送信されていなかったことがわかりました。未送信となっていた自治体に連絡をし対応について確認しましたが、最終的に16自治体44人の手続きが間に合いませんでした。

44人については電話によるお詫びと確定申告の説明を行い、お詫びの文書、本町の特産品を送付しました。返還を希望された方、18

人には合わせて28万円の返還を行いました。

5月20日から21日に発生した強風による農業被害状況について

5月20日から21日に発生した強風による農業被害について、営農指導対策協議会等で調査を実施した結果、てん菜、スイートコーン、デントコーンの圃場で被害が確認されました。特に被害の大きかったてん菜については、平年からみて3週間から4週間の遅れとなり、収量においても平年作は見込めない厳しい状況となりました。



風害で再移植されたてん菜

ユーヒーズレイク



一人でも多くの町民が 町政のあり方を知っておくべきでは

「匿名ならば」と応じて
いただいた、ウォーキング
やおしゃべりが趣味のお三
方にお話を伺いました。
Aさんは友達に誘われて
初めての傍聴で「国会など、
どこもそうだが、あげ足と
りは聞きにくい。仲良くで
きないのかなと思う」。
Bさんはもともと関心が
なかったと仰っていました
が、今回が2回目です。「ただ
原稿を読みあげるだけでは
迫力がない、もっと活発に」。
Cさんは一般質問の新聞
折り込みを見て興味を持っ
たのがきっかけで、4回目

の傍聴「いつも町長の答弁
は聞きにくい、マイクの性
能の問題だけではないので
は」。
Aさんから「答えにくい
から濁しているのかと思っ
てしまう」とそれぞれのこ
感想をいただきました。
一般質問に対しての感想
を伺うと「どのようなルー
ル（順番など）で立つの？」
「税金をもらっているのに、
一度も質問をしない議員は
どのような感覚？」「町民
の声を聞いて勉強をしてい
ないのでは？」「議場で発
言はしないが、一生懸命の

議員もいると聞いている」
「一連の税金横領事件の解
決はいつ？」「所有者不明
の山林対策は？」などなど、
最初は特に何も言うことな
いですよと仰っていたのに、
たくさんのご感想や疑問を
いただきました。
一人でも多くの町民が町
政のあり方を知っておくべ
きとも語られて、人口減や
空き家問題、本別高校存続
など、これからの本別に対
する熱い想いを感じてイン
タビューを終えるとともに、
議会のあるべき姿を改めて
考えざるを得ませんでした。

議会日誌

〔 5 月 〕



- 15日 産業厚生常任委員会、
十勝議長会定例会
- 16日 総務常任委員会
- 20日 町内公共施設等議員視察
- 21日 議会運営委員会、議員協議会

〔 6 月 〕



- 5日 議会運営委員会
- 10日 第2回定例会開会、議員協議会、
総務常任委員会、産業厚生常任委員会、
本別町林活議連役員会
- 11日～12日
北海道町村議会議長会総会（札幌市）
- 14日 議会運営委員会、総務常任委員会
- 16日 札幌本別会（札幌市）
- 18日 本会議（一般質問）、本別町林活議連総会、
広報広聴常任委員会
- 19日 本会議（議案審議）
- 21日～23日
東京本別会（東京都）
- 25日～26日
北海道町村議会議長会議員研修会（札幌市）
- 26日 広報広聴常任委員会

〔 7 月 〕



- 2日 広報広聴常任委員会、
宮城県大衡村議会視察来町
- 9日 新任議員研修会（札幌市）
- 11日 広報広聴常任委員会
- 12日～14日
徳島県小松島市表敬訪問（徳島県）
- 17日 北海道教育委員会要請活動（札幌市）
- 19日 広報広聴常任委員会、議長との対話室、
議会運営委員会、議員協議会
- 23日 議長との対話室
- 31日 徳島県藍住町議会視察来町

**9月の定例会は
10日開会、18日一般質問を
予定しています**

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか